

て、交流人口の増加を目指す費用や戦略の基礎となる実態調査および、その分析を実施する費用。また、町外から人を集めるため、PR活動に必要な販促ツールを作成し、営業活動を強化する費用、また、スポーツ目的の来町者の満足度向上を目指し、まちぐるみでもてなす仕組みを構築する費用、そして交流人口を効率的に拡大させるための活動や受入の拠点となる施設のインフラ整備等の施設環境の整備を図る費用です。

幡多広域観光協議会事業は、高知県と幡多6市町村が連携のもと、幡多広域観光協議会がDMO(くろしお観光ネットワーク)としての役割を担っていくために必要な組織体制の強化や安定的な運営資金の確保を目指すとともに、多様な関係者との連携による地域一体となった観光地域づくりと事業戦略やツールを活用したプロモーション・情報発信等の加速化を目的とした事業を実施するためのものです。

●平成28年度黒潮町一般会計予算

■庁舎建設費

19億2300万円

庁舎本体の建設にかかるもので7月に入札予定。

総額(用地買収、造成工事、本体工事、各設計委託料など)は約42億円です。有利な起債の利用で、町の負担額は5億円程度になります。

■社会福祉費 590万円

新たに佐賀地区に、あった

かふれあいセンターの設置を計画し、10月の開設を目標に施設や委託先を検討しています。

■農林水産業費

1200万円

園芸施設の燃料タンクの耐震化、防油堤の設置を推進するための補助金です。

■林業振興費 704万円

幡東森林組合への出資金です。経営基盤が弱いので、増資をして経営強化を図るもの

■水産業振興費

1億212万円

現在、休業中の伊田定置網を再開するため4500万円を計上。実績のある業者の協力を得て、水揚げ高3500万円を目指し、8人程度の雇用を見込んでいます。

また、地震津波対策として、佐賀漁港の給油施設の埋設を行う予算5712万円が組まれました。耐震性の燃料タンクも検討しましたが、コストの面(輸送コスト、容量、耐震性)で埋設にした方が低コストで安全な施設ができるということです。

■道路新設改良費

5千万円

町道大井川馬荷線が着工します。

●平成28年度黒潮町後期高齢者医療保険特別会計予算

平成28、29年度保険料率の算定についての高知県後期高齢者医療広域連合議会で議決

を受け、急激な医療費の変動に対応するために増額予算となりました。

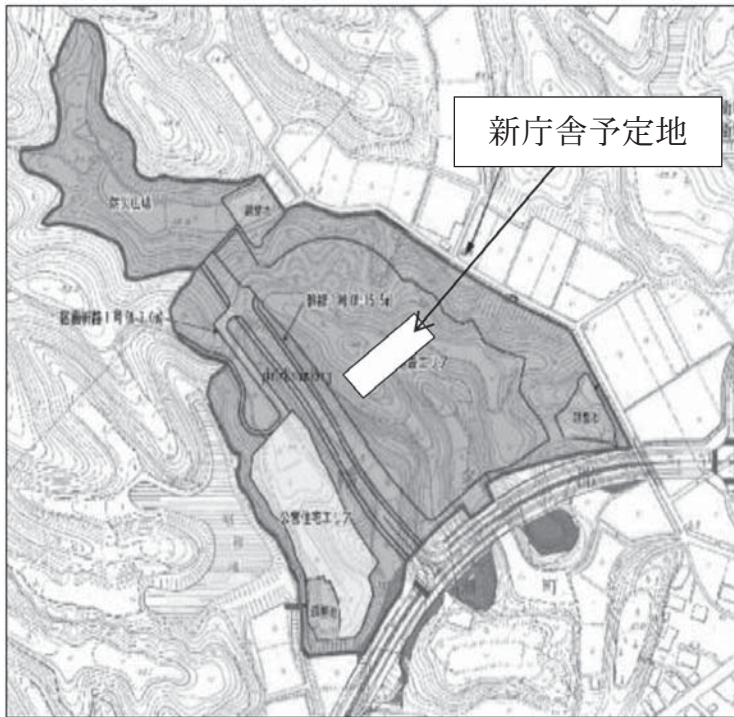
●平成28年度黒潮町農業集落排水事業特別予算

この運営について、最適整備構想を設定した比較調査の報告がありました。

今後、40年間の町の持出費用について、継続した場合、中止した場合、平成33年度中止の場合、平成51年度中止の場合で試算した結果、現状のままでの継続が、最も費用が少ないため、延命措置をしながらの活用となりました。しかし、多額の町費がかかっているため、更なる加入努力を要望しました。

●平成28年度黒潮町水道事業特別予算

平成28年度事業として、大方バイパス改良に伴う上水道敷設工事と、坂折、浜町地区の簡易水道の敷設を行うそうです。



庁舎建設予定地「スケン谷」の概要図